



Title	<書評>「銀河英雄伝説 1～10巻・銀河英雄外伝 1～4巻」（田中芳樹著，徳間書店，各700円）
Author(s)	T. F.
Citation	大阪公衆衛生. 1991, 59, p. 19-19
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83634
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『銀河英雄伝説 1～10巻
銀河英雄外伝 1～4巻』

田中芳樹著（徳間書店 各700円）

私がこの本と出会ったのは、高校3年の終わりごろで、同じ会社を受ける友人に貸してもらったのが始まりだ。最初から奥深くのめりこんでしまい、どうにも抜けだせない。

のめり込んだ原因には、いろいろ考えられるが、主な原因は、自由惑星同盟の、ヤン・ウェンリー提督にある。この人の考え方、言動を見ていると、自分がはっきりと表現することができないものが、どんどん論理的に文字となって表現されていく気がした。

例えば、「戦争はなぜ悪なのか。それは何よりもまず、無意味な死、無益な死、犬死を大量生産するからだよ。そうじゃないかい？」
「軍隊は道具にすぎない。それもない方がいい道具だ。そのことを覚えておいて、その上で無害な道具になれるといいね」等々。

先日の湾岸戦争の折も、「ヤン提督なら、どのように考えるのだろうか」と感じた。

次に登場人物に味のある人物が多く、各名コンビ？のボケとツッコミが絶妙であるというのも、堅い事を書いている割に笑いながら読んでしまう一因であった。

最後に、これが一番大きな要因であると思うが、銀河英雄伝説には、美男子が大勢でてくるのである！ヤン提督を筆頭にぞくぞく出てくる美形の中でひととき美しいのは、やはり、ヤン提督の永遠の宿敵、帝国軍のローエングラム侯だろう。水晶を銀の彫刻刀で彫り上げたような彼の姿は、まるで、名画のモデルのように見事だ。

本伝10巻、外伝4巻と少し長いですが、一読の価値はあり、断然おすすめである。

(T. F. 20歳)